



日本大学藤沢中学校

NIHON UNIVERSITY Fujisawa Junior High School

— 第3学年 —

教科名	科目名	単位数	年・組
国語	国語	4	中学3学年 全クラス

使用教科書	副教材
『新しい国語3』(東京書籍)	『常用漢字ダブルクリア』(尚文出版), 『ウイニングPlus 3』(好学出版), 『まんがで理解 楽しい文法』(とうほう), 『二訂版 カラー 小倉百人一首』(京都書房)

1. 学習の目標

文章を速く正確に、精密に読む訓練をする。また語彙を拡充し、表現の幅を広げる。さらに古典読解のための知識(古文単語・漢文訓点・文法)を広げ、言葉に対する感受性を養い、伝統文化への理解を促進する。

2. 評価の観点

①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしている。	国語の知識及び技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けようとしている。	国語への関心が高く、自らの学習状況を把握し、自らの学習を調整しながら学ぼうとしている。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	実力問題	過去問題の演習をして実力問題に慣れようとしている。	授業への取り組み 提出物 小テスト 定期試験
		生命は 二つのアザミ 和語・漢語・外来語	詩の意味や効果的な表現を捉え、読み方を工夫して音読する。 表現の工夫に注意して、筆者の考えを捉える。 和語・漢語・外来語について理解する。	
	5	間違えやすい敬語	間違えやすい敬語に注意し、適切な敬語の使い方を理解する。	
		俳句の読み方、味わい方 形 おくのほそ道	俳句の句風に着目して、俳句を読み味わう。 登場人物の言動の意味に注意して、作品を読み味わう。 有名な冒頭文を学び、暗唱する。 当時の状況や作者の思いを捉え、古人の考え方を学ぶ。	
6	熟語の構成・熟字訓 百科事典少女	熟語の構成や熟字訓について理解する。 場面ごとの人物の考えや人物どうしの関係を捉えて、作品を読み味わう。		
	絶滅の意味 論語	場面の展開や表現の仕方に着目し、作品を批評する。 論の進め方に注意して、筆者の主張を捉える。人間社会との関わりについて考え、自分の考えを持つ。 繰り返し音読して漢文に慣れる。書き下し文を学ぶ。		
	連語・慣用句 問題集	連語や慣用句について理解する。 問題演習を通して、総合力を磨く。		
2	9	幸福について 観察・分析して論じよう 曖昧な文・分かりづらい文	文章に表れている考えを捉え、吟味する。 文章を読んで自分の考えを持ち、議論の仕方を踏まえて話し合う。 批評の対象について、観察・分析したり、比較したりして、自分なりの判断を下す。 文の成分の順序や照応など文の構成について理解する。	授業への取り組み 提出物 小テスト 定期試験

	送りがな 初恋	送りがなの付け方について理解し、漢字を文や文章の中で使う。 表現の特徴を捉え、リズムを感じ取りながら朗読する。	
10	万葉・古今・新古今 言葉の移り変わり	和歌のリズムに注意して音読するとともに、歴史的背景などに注意して、それぞれの和歌に込められた意味を捉える。 それぞれの歌集の歌風を学ぶ。 言葉の変化について理解する。	
11	故郷 何のために「働く」のか 紛らわしい漢字	故郷の人々の過去と現在の様子を捉え、登場人物の関係の変化について読み取る。 社会の中で生きる人間の姿について、感じたことや考えたことをまとめる。 読書を通して自分の生き方や社会との関わり方を考え、自分の将来について考えを持つ。 形や音の似た、紛らわしい漢字について学ぶ。	
12	問題集	問題演習を通して、総合力を磨く。	
3	1	いつものように新聞が届いた レモン哀歌	授業への取り組み 提出物 小テスト 定期試験
	2	話し合いで意見をまとめよう 間違いやすい言葉 文法のまとめ 今の思いをまとめよう	
	3	問題集	
		情報の意義とメディアについて考える。 災害時における情報の価値やメディアの役割について考える。 効果的な表現に注意して詩を読む。 詩に描かれた生と死について考え、感想を持つ。	
		話の論点整理する練習を行い、意見を出し合う。 問題解決に向けて互いの考えを生かし合う。 読み間違えたり書き間違えたりしやすい言葉に注意し、正しい知識を身につける。 文法的な性質の異なる語の見分け方を復習する。 分かりやすい文章を書くために、文の中の文の成分の順序や照応、文の組み立てなどについて考えさせる。 正しい言葉の使い方、原稿用紙の使い方など、総合的な国語表現力の拡充を図る。	
		問題演習を通して、総合力を磨く。	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
社会	社会	4	中学3学年 全クラス

使用教科書	副教材
『新しい社会 歴史』(東京書籍), 『新しい社会 公民』(東京書籍)	『よみとき総合歴史 神奈川県版』(浜島書店), 『中学実力練成テキスト 社会歴史』(文理), 『最新 公民資料』(浜島書店),『中学実力練成テキスト 社会 全』(文理)

1. 学習の目標

現代の社会的現象に対して関心を深め、様々な資料を多面的・多角的に考察し、事実を正確にとらえ、公正に判断するとともに適切に表現する能力と態度を養い、公民的資質を修得する。国際社会に生きる現代人として社会の諸問題に着目し、人類の福祉の向上のための方策を自ら考えることができるようになる。

2. 評価の観点

①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
1つの社会的事象に関する基礎的な内容の理解や、意義の理解、その歴史的背景など、多面的・多角的に理解し、知識を身に付けている。また、提供された資料を適切に選択し、活用するとともに、それらを追求し、考察した過程や結果を適切に表現している。	社会的事象から課題を見出し、その意義や特色、他の事象との相互の関連性を考え、健全で公正な判断力を持ち、自らの生き方についても考えることができるようになり、必要な場面で自分の考えを表現できている。	社会的事象に対する関心を高め、意欲的に追及し、よりよい社会実現を考察し、公民としての自覚と責任を持つとする。課題に対して自発的に学習に取り組み、自分の考えを組み立てる態度を追求している。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	第7章 現代の日本と世界 1節 戦後日本の発展と国際社会 2節 新たな時代の日本と世界	[歴史的分野の継続] ・敗戦後の日本を、民主化政策や憲法制定を中心に理解し、世界の中の日本の立場を考える。 ・東西対立など揺れ動く国際情勢の理解を深める。 ・高度経済成長期以降の日本の歩みを理解し、21世紀の日本と世界について考える。	授業への取り組み 提出物・小テスト 定期試験 出席状況・行動観察 ポートフォリオ入力
	5	第1章 現代社会と私たち 1節 現代社会の特色と私たち 2節 私たちの生活と文化	[公民的分野の開始] ・様々な資料から、現代日本の特色や、現代社会における文化の意義について読み取り、現代社会をとらえる力を育てる。 ・現代日本の特色としてグローバル化、情報化、少子高齢化などが見られ、それらが政治、経済、国際関係に影響を与えていること、又現代社会における文化の意義や影響について理解する。	
	6	3節 現代社会の見方や考え方 第2章 個人の尊重と日本国憲法 1節 人権と日本国憲法 2節 人権と共生社会	・現代社会をとらえる見方や考え方の基礎として、対立と合意、効率と公正などの見方や考え方があることを、具体的な社会生活と関連付けて理解する。 ・個人の尊重についての考え方を、基本的人権を中心に、具体的な学習活動などを通して意欲的に追究するとともに、法の意義を理解する。 ・日本国憲法の基本原理(国民主権、平和主義、基本的人権の尊重)を、社会の形成者としての立場から、具体的な生活とのかかわりを通じて理解する。	
	7	3節 これからの人権保障	・個人の尊厳と両性の本質的平等、自由・権利と責任・義務の関係が社会生活の基本となっていることに気付く。 ・現代社会の様々な人権課題の解決や、共生社会の実現に向けての取り組みに、社会の形成者として積極的にかかわろうとする態度を身につける。	

2	9	第3章 現代の民主政治と社会 1節 現代の民主政治 2節 国の政治の仕組み	<ul style="list-style-type: none"> ・選挙をはじめとする国民の政治参加によって、より良い民主政治が運営されることに気付き、良識ある主権者としての政治参加のあり方について考える。 ・国会を中心とする日本の民主政治の仕組みや、地方自治の考え方を理解し、法の意義や公正な裁判について理解する。 ・新聞記事や統計資料などを活用し、現実の政治の動きを多面的・多角的にとらえる。 	授業への取り組み 提出物・小テスト 定期試験 出席状況・行動観察 ポートフォリオ入力
	10	3節 地方自治と私たち 第4章 私たちの暮らしと経済 1節 消費生活と市場経済 2節 生産と労働 3節 市場経済の仕組みと金融 4節 財政と国民の福祉 5節 これからの経済と社会	<ul style="list-style-type: none"> ・地方自治の考え方を理解し、住民自治の意義などについて考える。 ・経済活動が、人間生活の維持・向上に欠かすことのできないものである事を、身近な消費生活を通して理解する。 ・無限で多様な人々の欲求に対し、社会の資源は有限であり、その資源からどの財やサービスを生産するのかを価格を考慮して選択するという、市場経済の基本的な考えを理解し、現代の生産や金融の仕組みや働き、企業の役割と責任について考える。 ・統計資料や図、新聞記事などの様々な資料を収集・選択したり、読み取ったり、その結果をわかりやすくまとめ、表現したりする学習を通し、経済的事象をとらえる見方や考え方の基礎を養う。 	
	11	第5章 地球社会と私たち 1節 国際社会の仕組み 2節 さまざまな国際問題	<ul style="list-style-type: none"> ・国際的な相互依存関係の深まりの中で、世界平和の実現と人類の福祉の増大のために、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことが重要であることを認識する。 ・持続可能な社会を形成するために解決すべき課題を探究することを通して、対立と合意、効率と公正などの見方や考え方を身に付ける。 	
	12	3節 これからの地球社会と日本	<ul style="list-style-type: none"> ・国際社会における日本の役割について多面的・多角的に考察、構想し表現する。 	
3	1	終章 より良い社会を目指して 中学3年間の総復習	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な社会のために、自分たちに何ができるかを考えることを通し、社会参画するための手がかりを得る。 ・自分たちが生きる現代社会を概観し、学ぶことで、公民的分野への関心を高め、これ以降の学習につなげる。 ・中学3年間の全復習を通じ、知識の整理と系統立てを完成させ、高校進学への準備とする。 	授業への取り組み 提出物・小テスト 定期試験 出席状況・行動観察 ポートフォリオ入力
	2	中学3年間の総復習・問題演習	<ul style="list-style-type: none"> ・中学3年間の全復習を通じ、知識の整理と系統立てを完成させ、高校進学への準備とする。 ・地理的分野、歴史的分野との関連を図るとともに、様々な条件や要因からとらえさせるなど、多面的・多角的に考える。 	
	3	総括	<ul style="list-style-type: none"> ・問題演習を通じて、中学3年間で学習した地理的分野、歴史的分野及び公民的分野の総復習をし、特進選抜試験に向けての準備とする。 	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある

教科名	科目名	単位数	年・組
数学	数学	6	中学3学年 全クラス

使用教科書	副教材
『新しい数学2』(東京書籍)	『システム数学② 幾何・統計編』(啓林館), 『システム数学② 幾何・統計編 問題集』(啓林館), 『高校受験対策 実践トライアル6+6』(育伸社)

1. 学習の目標

数量や図形などについての基礎的・基本的な知識及び技能を習得し、これらを活用して問題を解決するために必要な数学的な思考力、判断力、表現力等を育むとともに、数学のよさを知り、数学を主体的に生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を評価・改善しようとしたりするなど、数学的に考える資質・能力を育成する。

2. 評価の観点

①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に表現・処理している。	数量や図形などの性質を見だし論理的・発展的に考察する力を養い、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現している。	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、数学を生活や学習に生かそうとする態度を養い、自ら問題解決の過程を振り返って評価・改善している。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	『システム数学 幾何・統計編②』 第2章 円の性質	※6単位のうち2単位を習熟度別演習とし、基礎的な内容から高校入試レベルの内容を扱う。 1節 円 2. 2つの円 2節 円周角 1. 中心角と円周角 2. 円に内接する四角形 【習熟度】 1・2年次の内容の復習	授業への取り組み 定期試験 小テスト 提出物
	5		3. 接線と弦のなす角 4. 方べきの定理 ○ 実力試験対策	
	6	第4章 三平方の定理	1節 三平方の定理 1. 三平方の定理 2節 三平方の定理の利用 1. 平面図形への利用 2. 空間図形への利用	
	7		【習熟度】 授業の内容の復習	
2	9	第5章 確率と標本調査	1節 確率 1. 場合の数 (研究) 順列 (研究) 組み合わせ 2. 確率の求め方	授業への取り組み 定期試験 小テスト 提出物
	10	数学I (数研出版) 第4章 図形と計量	1. 三角比 ①三角比	

			②三角比の相互関係 ③三角比の拡張	
	11		2. 三角形への応用 ①正弦定理 ②余弦定理 ③正弦定理と余弦定理の応用	
	12		【習熟度】 授業の内容の復習 3年間の復習（基礎的な内容から高校入試レベルの内容を扱う）	
3	1	数学I（数研出版） 第1章 数と式	1. 式の計算 ①整式 ②整式の加法と減法および乗法 ③因数分解	授業への取り組み 定期試験 小テスト 提出物
	2		2. 実数 ①実数 ②根号を含む式の計算	
	3		【習熟度】 特進選抜試験対策 （基礎的な内容から高校入試レベルの内容を扱う）	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
理科	理科 (物理・地学)	2.5	中学3学年 全クラス

使用教科書	副教材
『未来へひろがるサイエンス3』(啓林館)	『中学実力練成テキスト 理科学(新訂版)』(日本教材出版), 『最新理科便覧』(浜島書店)

1. 学習の目標

様々な現象に疑問を持ち、実験から原理を学び、論理的に現象を理解できるようにし、授業での知識を問題演習により整理し定着する。

2. 評価の観点

①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
基礎的な知識を身に着け、表・グラフの整理、数値を用いた問題を解けている。	物理的な思考を身に付け、現象を論理的に説明できる。	授業に積極的に取り組み、提出物を提出している。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	運動とエネルギー	1章「力の合成と分解」 ・水圧, 浮力 ・力の合成, 分解 2章「物体の運動」 ・運動の表し方 ・水平面での物体の運動 ・斜面上の物体の運動 ・物体間での力の及ぼし合い	定期試験 提出物 授業への取り組み 小テスト
	5	運動とエネルギー	3章「仕事とエネルギー」 ・仕事, エネルギー ・位置エネルギーと運動エネルギー 4章「多様なエネルギーとその移り替わり」 ・エネルギーの種類 ・エネルギーの変換と保存 ・熱の移動	
	6	運動とエネルギー	5章「エネルギー資源とその利用」 ・生活を支えるエネルギー ・エネルギー利用上の課題 ・エネルギーの有効利用	
	7			
2	9	宇宙を観る	1章「地球から宇宙へ」 ・地球, 月, 太陽 ・太陽系 ・月と金星の動きと見え方 ・宇宙の広がり	定期試験 提出物 授業への取り組み 小テスト
	10	宇宙を観る	2章「太陽と恒星の動き」 ・太陽の動き ・星座の星の動き	
	11	宇宙を観る	3章「月と金星の動きと見え方」 ・月の動きと見え方 ・金星の動きと見え方	
	12			

3	1	特進選抜試験対策	・プリント演習 ・小テスト	定期試験 提出物 授業への取り組み 小テスト
	2	特進選抜試験対策	・プリント演習 ・小テスト	
	3	特進選抜試験対策	・プリント演習 ・小テスト	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
理科	理科(化学・生物)	2.5	中学3学年 全クラス

使用教科書	副教材
『未来へ広がるサイエンス』 (啓林館)	『中学実力練成テキスト 理科学(新訂版)』 (日本教材出版), 『最新理科便覧』 (浜島書店)

1. 学習の目標

化学的な事柄・現象についての観察・実験などを行い、自然に対する関心や探究心を高め、化学的に探究する能力と態度を育てるとともに基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な自然観を習得する。

生物的な事柄・現象についての観察・実験などを行い、動物の生活やからだのつくりの多様性と共通性を理解し、動物を探究する能力と態度を育てるとともに動物に対する興味・関心を高めることにより、動物に対する愛情を深め、生命を尊重する態度を習得する。

2. 評価の観点

1. 知識・技能	2. 思考・判断・表現	3. 主体的に学習に取り組む態度
授業、観察、実験などを通して科学的な事柄・現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。科学的な事柄・現象に関する観察・実験の技能を習得し、科学的に探究する方法を身に付けている。	科学的な事柄・現象の中に問題を見出し、観察、実験などを行い、事象を実証的・論理的に考察することにより問題を解決し、事実にもとづいて科学的に判断している。過程や結果およびそこから導き出した自らの考えを的確に表現している。	授業、観察、実験などを通して科学的な事柄・現象に関心や探究心をもち自主的にそれらを探究するとともに、科学的態度を身に付けている。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	生命の連続性 1章生物の増え方と成長	生物の細胞の成長と分裂の仕組みを学習する。 植物の増え方を細胞の視点から学習する。 動物の増え方を細胞の視点から学習する。	授業への取り組み 定期試験 提出物 小テスト
	5	2章遺伝の規則性と遺伝子 3章生物の種類の多様性と進化	細胞の染色体の仕組みから分裂と遺伝について学習する。 生物の進化について学習する。 生物どうしのつながりを食物連鎖の視点から学習する。 自然界の炭素や酸素の移動を学習する。	
	6	自然と人間 1章自然界のつながり 2章さまざまな物質の利用と人間	自然界のつながりはどう保たれているのか学習する。 身近な自然環境を調査を行い、自然環境の問題、地域の自然災害について学習する。 さまざまな物質の利用について学習する。	
	7	自然と人間のかかわり	自然と人間との関わりについて学習する。	
2	9	化学変化とイオン 1章水溶液とイオン	水溶液に電気が流れる仕組みやイオン・原子を学習する。	授業への取り組み 定期試験 提出物 小テスト
	10	2章電池とイオン	化学変化により電気を取り出す仕組みについて学習する	
	11	3章酸・アルカリと塩	化学変化によりどのように物質を取り出すのか酸化・還元を例にして学習する。	
	12	1・2年次の総復習	特進選抜試験に向け、1・2年次に学習した生物・化学分野を実験、演習を行い理解を深める。	
3	1	中学理科の総復習	特進選抜試験に向け、中学で学習した生物・化学分野を実験、演習を行い理解を深める。	授業への取り組み 定期試験 提出物 小テスト
	2	中学理科の総復習	特進選抜試験に向け、中学で学習した生物・化学分野を実験、演習を行い理解を深める。	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
音楽	音楽	1	中学3学年 全クラス

使用教科書	副教材
『中学生の音楽 2・3下』(教育芸術社) 『中学生の器楽』(教育芸術社)	なし

1. 学習の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成する。

2. 評価の観点

①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。	音や音楽、音楽文化に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	歌唱	「花」について学習する。 曲想と音楽の構造や歌詞の内容を学ぶ。 曲の背景を理解し、それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を模索する。	授業への取り組み 提出物 実技試験 小テスト 期末試験
	5	実技試験	「花」の実技試験を行う。	
	6	リズムアンサンブル	「クラッピングラブソディ 第1番」を練習し、ボディーパーカッションでのアンサンブルを行う。	
	7	鑑賞	「ブルタバ (モルダウ)」の鑑賞を行う。 曲想と音楽の構造や曲の背景となる歴史との関わりについて学習する。	
2	9	楽典	五線と鍵盤の関係を把握する。 五線譜の書き方を学習する。	授業への取り組み 提出物 実技試験 小テスト 期末試験
	10	ソルフェージュ	音の聴き取りを行い、五線譜に書き出す。 書き出した音をキーボードで鳴らす。	
	11	創作	音階の特徴及び音のつながり方の特徴について理解し、それらを生かしたまとまりのある創作表現を創意工夫して音楽を作る。	
	12	鑑賞	能「敦盛」について学習する。 伝統音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解する。	

3	1	鑑賞	ポピュラー音楽について学習する。 生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽の良さや美しさを味わって聴く。	授業への取り組み 提出物 実技試験 小テスト 学年末試験
	2	歌唱	音楽の構造や要素を分析し、それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌う。	
	3	復習	1年間のまとめを行う。	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
美術	美術	1	中学3学年 全クラス

使用教科書	副教材
『美術2・3』 (光村図書)	なし

1. 学習の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。
 また、造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。さらに美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培うようにする。

2. 評価の観点

①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。表現方法を創意工夫し、創造的に表している。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとしている。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	絵画・素描 ・点描で人物を描く	点描技法を用いて人物画を描く。対象を点描で描くことで素描の表現技法の技能向上をめざす。	授業への取り組み 提出物 出席状況 期末試験
	5	絵画・素描 ・点描で人物を描く	点描技法を用いて人物画を描く。対象を点描で描くことで素描の表現技法の技能向上をめざす。	
	6	絵画・素描 ・点描で人物を描く	点描技法を用いて人物画を描く。対象を点描で描くことで素描の表現技法の技能向上をめざす。	
	7	絵画・素描 ・点描で人物を描く ・鑑賞	点描技法を用いて人物画を描く。対象を点描で描くことで素描の表現技法の技能向上をめざす。 点描を用いた作品の鑑賞	

2	9	デザイン・工作 ▪パッケージをデザインする	自分で考えた商品を包むパッケージのデザインを考え、実際に厚紙を用いて制作を行う。手に取ってもらいたい相手のことや、どんなパッケージなら目を引きやすいかを考えながらデザインをする。	授業への取り組み 提出物 出席状況 期末試験
	10	デザイン・工作 ▪パッケージをデザインする	自分で考えた商品を包むパッケージのデザインを考え、実際に厚紙を用いて制作を行う。手に取ってもらいたい相手のことや、どんなパッケージなら目を引きやすいかを考えながらデザインをする。	
	11	デザイン・工作 ▪パッケージをデザインする	自分で考えた商品を包むパッケージのデザインを考え、実際に厚紙を用いて制作を行う。手に取ってもらいたい相手のことや、どんなパッケージなら目を引きやすいかを考えながらデザインをする。	
	12	デザイン・工作 ▪パッケージをデザインする ・鑑賞	自分で考えた商品を包むパッケージのデザインを考え、実際に厚紙を用いて制作を行う。手に取ってもらいたい相手のことや、どんなパッケージなら目を引きやすいかを考えながらデザインをする。 ポスター作品の鑑賞	
3	1	デザイン ▪ピクトグラムを作る	ひと目でみて理解できる絵文字をデザインする。伝えたい内容を、簡潔に相手に伝えるために、形や色彩などの効果を生かして分かりやすさや親しみやすさを考え、表現の構想を練る。	授業への取り組み 提出物 出席状況 学年末試験
	2	デザイン ▪ピクトグラムを作る	ひと目でみて理解できる絵文字をデザインする。伝えたい内容を、簡潔に相手に伝えるために、形や色彩などの効果を生かして分かりやすさや親しみやすさを考え、表現の構想を練る。	
	3	デザイン ▪ピクトグラムを作る	ひと目でみて理解できる絵文字をデザインする。伝えたい内容を、簡潔に相手に伝えるために、形や色彩などの効果を生かして分かりやすさや親しみやすさを考え、表現の構想を練る。	

※ 上記の内容は、各クラスの時間割によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
保健体育	保健体育	3	中学3学年 全クラス

使用教科書	副教材
『保健体育』 (大修館書店)	『健康手帳』 (神奈川県学校保健連合会)

1. 学習の目標

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習活動を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質や能力を次のとおり育成することを目指す。また、各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けつつ、運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養いながら、生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を身に付ける。

2. 評価の観点

①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践することができるように運動や体力の必要性について理解している。また、個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付ける。	自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を身につける。	競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、一人一人の違いを認めようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動する態度を身につける。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	○体づくり運動 ・集団行動	・整列、行進、方向転換、列の増減、人員点呼、ラジオ体操	授業への取り組み 提出物 行動観察 実技試験 期末試験 授業への取り組み 提出物
	5	○体づくり運動 ・新体力テスト	・握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、立ち幅跳び、持久走、50m走、ハンドボール投げ	
	6	○球技①選択 ・バレーボール ・フットサル ・Tボール	・パス、サーブ、スパイク、簡易ゲーム ・パス、ドリブル、シュート、簡易ゲーム ・守備 (捕球・送球)、打撃、試合	
		○保健 ・健康な生活と病気の予防	①健康を左右するもの ②運動と健康 ③食事と健康 ④休養・睡眠と健康 ⑤生活習慣病とその予防 ⑥喫煙と健康	
7	○保健 ・健康な生活と病気の予防	⑦飲酒と健康 ⑧薬物乱用と健康		
2	9	○武道選択 ・柔道 ・剣道	・礼法、受け身、寝技、体さばき、足技 ・礼法、足さばき、素振り、空間打突	授業への取り組み 提出物 行動観察 実技試験 期末試験 授業への取り組み 提出物
	10	○武道選択 ・柔道 ・剣道 ○ダンス	・腰技、手技 ・防具の着脱、打突と受け方 (基本打突) ・体育祭練習 (ソーラン節)	

	11	○球技②選択 ・バレーボール ・フットサル ・Tボール ○保健 ・健康な生活と病気の予防	・パス、サーブ、スパイク、簡易ゲーム ・パス、ドリブル、シュート、簡易ゲーム ・守備 (捕球・送球), 打撃, 試合 ⑨感染症と病原体 ⑩感染症の予防 ⑪性感染症の予防 ⑫エイズの予防 ⑬医薬品の正しい使い方	
	12	○保健 ・健康な生活と病気の予防	⑭医療・保健機関とその利用 ⑮個人の健康を守る社会の取り組み	
3	1	○陸上競技 ・長距離走	・記録測定 ・マラソン大会	授業への取り組み 提出物 行動観察 実技試験 学年末試験 授業への取り組み 提出物
	2	○ダンス 創作ダンス ○器械体操 ・マット, 跳び箱 ○体育理論 ・文化としてのスポーツ	・イメージ創作, モチーフ作り, グループ創作, 発表会 ・前転, 後転 (開脚, 伸膝), 倒立前転 ・開脚とび, 閉脚とび, 台上前転, 発展技, 発表会 ①生活を豊かにするスポーツ ②国際的スポーツ大会の役割	
	3	○体育理論 ・文化としてのスポーツ	③人々を結ぶスポーツ	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
技術・家庭	家庭分野	1	中学3学年 全クラス

使用教科書	副教材
『新編 新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して』(東京書籍)	なし

1. 学習の目標

自分の成長の道筋を振り返り、家族一人ひとりの生活や役割は、家族の構成により変化するということを学び、その変遷をライフステージとともに理解する。家庭生活と消費では、現代社会に氾濫している多くの商品から、本当に必要な物、良い商品を選択できるようにする。また、消費生活の中で起こるトラブルについて、学び、その対処の方法を理解する。

2. 評価の観点

①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
自分の生活について関心を持ち、充実・向上を目指し主体的に取り組もうとする実践的な態度を身に付けている。	さまざまな分野で課題を見いだしてその解決を目指し自分なりに工夫し、創造している。	生活や技術に関する知識・技能を身につけ生活を充実・向上するために主体的に実践しようとしている。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	幼児の生活と家族	幼児の発達と生活の特徴を知り、子どもが育つ環境としての家族の役割について理解する。	授業への取り組み 小テスト 期末試験 提出物 出席状況
	5	幼児の体の発達	幼児の発達の個人差、運動機能、生理的機能について理解する。	
	6	幼児の心の発達	情緒・社会性・言葉などのような流れで発達していくのかを理解する。	
	7	幼児の生活習慣の習得	基本的な生活習慣、社会的な生活習慣を支える家族の役割について理解する。	
2	9	幼児の生活と遊び	1日の生活を振り返り、幼児の観察や遊びの道具の製作などを通して遊びの意義について理解する。	授業への取り組み 小テスト 期末試験 提出物 出席状況
	10	幼児のかかわり方 家族・家庭と地域	幼児と触れ合うなどの活動を通して関心を深める。自分の成長と家族や家庭との関わりについて考える。	
	11	家族と家族関係	家庭や家族の基本的な機能について知り、家庭や家族の大切さについて考える。	
	12	私たちの消費生活	自分や家族の消費生活を振り返り、適切な消費生活を知る。	
3	1	商品の選択と購入	商品購入時に活用できるように、表示や各種のマーク、様々な販売方法、支払方法などを学び、消費生活の中で起こるトラブルやその対処の方法を理解し、日々の生活で注意する。	授業への取り組み 小テスト 学年末試験 提出物 出席状況
	2	環境に配慮した生活	大量生産、消費を見直し環境や資源を守る方法を考える。	
	3	消費者の権利と責任	消費者の権利と責任について理解する。	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
英語	英語	6	中学3学年 全クラス

使用教科書	副教材
『NEW TREASURE ENGLISH SERIES STAGE 2』(Z会), 『Sunshine English Course 3』(開隆堂)	『NEW TREASURE ENGLISH SERIES STAGE 2 文法問題集・準拠 CD』(Z会), 『NEW TREASURE ENGLISH SERIES STAGE 2 CDs for Students』(Z会), 『新ユメタン0』(アルク), 『キクジユク 中学英熟語』(アルク), 『ソクトレ 150』(アルク), 『Joy Reader 1』(数研出版), 『Sirius 21 まとめと完成』(育伸社), 『Listening Laboratory Basic α』(数研出版)

1. 学習の目標

NEW TREASURE を活用し、4技能(読む、聞く、書く、話す)を総合的に養う。「ユメタン」「キクジユク」を使用して、語彙力の充実を図る。「NEW TREASURE 文法問題集」「Sirius 21」などを利用し、中学英文法の総復習をする。「ソクトレ」「Joy Reader」を使用して、読解力を養う。「Listening Laboratory」を使って、リスニング力を養う。定期試験だけでなく、実力試験でも点数が取れるような力をつける。

2. 評価の観点

1. 知識・技能	2. 思考・判断・表現	3. 主体的に学習に取り組む態度
外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身につけている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	NEW TREASURE L. 7 受動態	「～される」「～された」と伝えることができる。	授業への取り組み 定期試験 小テスト 提出物
	5	L. 8 名詞、代名詞	具体的な形のないものについて表すことができる。 「1つは」や「その他の、残りは」などを表すことができる。	
	6	L. 9 分詞	さまざまな語句で名詞を後ろから説明できる。	
	7	L. 10 関係代名詞	ものや人の特徴や様子を説明して名詞を限定できる。	
2	9	L. 11 不定詞の発展的用法	不定詞を用いたさまざまな表現を使える。	授業への取り組み 定期試験 小テスト 提出物
	10	L. 12 比較/間接疑問/付加疑問/感嘆文	相手に確認したり、驚きを伝えたりできる。	
	11	3年間の復習 Sirius21 第1部 まとめと整理 ソクトレ1～10 Listening Laboratory 1～10	中学英語の総復習 速読 リスニング力養成	
	12	ソクトレ11～15	速読	

3	1	Sirius21 第2部 実践問題演習	特進選抜試験に向けた実践問題演習	授業への取り組み 定期試験 小テスト 提出物
	2	ソクトレ16～25 Listening Laboratory11～ 20	速読 リスニング力養成	
	3	特進選抜試験対策	特進選抜試験に向けた実践問題演習	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

※ ユメタン、キクジュクを使用し小テストを実施する。

※ Joy Reader①は、家庭学習日の課題として使用する。

教科名	科目名	単位数	年・組
道徳	道徳	1	中学3学年 全クラス

使用教科書	副教材
『中学道徳3 きみが いちばん ひかるとき』 (光村図書出版)	なし

1. 学習の目標

よりよい生き方を探り、人間としての生き方を考える視点で自分の学びを確認するとともに、現実の中で迷ったとき、今までに何を学んできたかを考察する。

2. 評価の観点

①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
自分の意見を冷静に、秩序立てて表明できている。	他人の意見を尊重し、多角的に物事を見て判断する姿勢が身についている。	自ら積極的に考える姿勢を持っている。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	1 道徳の授業を始めよう	道徳で何を学ぶのか、どのように学ぶのか、なぜ学ぶのか、なぜいっしょに学ぶのかについて考える。 柔道・大野将平選手のオリンピックでのエピソードを読んだりすることを通して、礼儀正しい行動を取ろうとする実践意欲と態度を学ぶ。	授業への取り組み 提出物 行動観察 観点別評価は行わない。
		2 礼儀正しさとは		
	5	3 背番号	挫折を乗り越えて野球部のキャプテンとしての役割を果たす「僕」の物語を通して、自分と周りの人々がどのような思いで関わっているのかを考える。 物語を通して、規則とは何のためにあるのかを考える。 東日本大震災への支援プロジェクトを巡る実話を通して、命の尊さについて考える。	
		4 二通の手紙		
		5 あの日 生まれた命		
	6	6 三年目の「ごめんね」	自分で考え誠実に行動するとはどういうことかについて考える。 魯迅の小説を通して、誰に対しても公平に接するためにはどのような考え方が必要かを考える。 ホスピスで、「リクエスト食」の取り組みに携わる管理栄養士と調理師の姿を通して、「働く」ことの意味について考える。 サグラダ・ファミリアの建設に携わる人々に関する文章を通して、人間の力を超えたものや時を超えてつながる思いを考える。 人工知能研究にかける思いの文章を通して、知的好奇心をもって真理を探究することのおもしろさと可能性について考える。	
		7 小さな出来事		
		8 「リクエスト食」を支える		
		9 サグラダ・ファミリア		
		10 鉄腕アトムをつくりたい		
7	11 がんばれ おまえ	体面を繕うあまり、内心に不安を抱える生徒を描いた物語を通して、「自分」について考える。 全国大会を目ざす生徒とそのライバルとの交流を描いた作品を通して、友達存在について考える。		
	12 私がピンク色のキャップをかぶるわけ			
2	9	13 ソーシャル・ビュー	「ソーシャル・ビュー」の活動が大切にしていることを通して、違う個性があることによって生まれてくる豊かさやおもしろさについて考える。 延命措置を施すことについて葛藤する家族と、尊厳死に対する新聞投稿を通して、命について考える。	授業への取り組み 提出物 行動観察 観点別評価は行わない。
		14 命の選択		

	15	一票を投じることの意味	選挙に関心をもち始めた生徒と選挙の意味についての説明文を通して、よりよい社会を実現するために大切なことについて考える。	
	10	16 闇の中の炎 17 ぼくのお物語 あなたの物語 18 私の再出発	既存の芸術作品を参考にして作品を描いたことに後ろめたさを感じている物語を通して、法やきまりを守ろうとする心について考える。 作者の人種差別問題についてのメッセージを通して、差別や偏見のない社会を築くために大切な心について考える。 78歳から81歳まで夜間学級で学び、その後も学び続けようとする作者の作文を通して、目標をもって学び、困難を乗り越えて、自分を高める喜びを実感して生きていこうとする実践意欲と態度を学ぶ。	
	11	19 足袋の季節 20 障子あかり 21 家族って？ 家庭って？	ごまかしを償うことができなかったという内容の随筆を通して、自分の弱さや醜さを見つめてそれを乗り越えることの大切さについて考える。 障子あかりについて述べた文章を通して、日本の文化を知り、継承していくことの大切さについて考える。 家族や家庭の役割を、家族のそれぞれの立場から考えることを通して、家庭での自分の役割について考える。	
	12	22 海とストロー 23 好いとっちゃん、博多	マイクロプラスチックのことを知り、それについて考える。「菜月」への自我関与を中心とした学習を通して、人間と自然との関わりについて考える。 郷土を愛し、その発展に尽力した西島伊三雄さんの思いや願いについて書かれた文章を通して、郷土と自分との関わりについて考える。	
3	1	24 希望の義足 25 『落葉』－菱田春草 26 小さいこと	ルワンダ内戦で負傷した人々を支援するプロジェクトの活動について書かれた文章を通して、世界で日本人として行動するのに大切なことは何かを考える。 菱田春草の生涯を描いた文章を通して、信念や意思について考える。 自分への「しつけ」として便所の草履をそろえる習慣をつづった随筆を通して、自らの生活を振り返り、小さなことを継続することの尊さについて考える。	授業への取り組み 提出物 行動観察 観点別評価は行わない。
	2	27 恩讐の彼方に 28 巣立ちの歌が聞こえる 29 先人の言葉－「論語」	贖罪のために難事業に取り組む僧と、復讐を企てる若者との葛藤を描いた小説を通して、「寛容の心」について考える。 卒業式を前に自分たちの学校を意識し、自主的に校舎を清掃したり修理したりした生徒たちの物語を通して、よい校風を作り、継承していくために大切なことは何かを考える。 「論語」の七つの章句を読むことを通して、自分を見つめ、輝かせることについて考える。	
	3	30 命と向き合う 31 道徳と学びを振り返ろう	生命誌研究者の命に関する文章を読み、話し合うことを通して、生命の尊さについて考える。 一年間の道徳で学んだことを振り返り、これからの自分の生き方について考える。	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。

教科名	科目名	単位数	年・組
総合的な学習の時間		2 (70時間)	中学3学年 全クラス

使用教科書	副教材
なし	なし

1. 学習の目標

積極的・総合的な学習や探究的な学習を通して、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにする。

2. 評価の観点

1. 知識・技能	2. 思考・判断・表現	3. 主体的に学習に取り組む態度
探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識や技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解している。	実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現している。	探究的な学習に主体的・協働的に取り組もうとしているとともに、互いのよさを生かしながら積極的に社会に参画しようとしている。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	国際理解教育	クラスを2つに分け、英語圏のネイティブ教員と日本人教員によるティームティーチングを行う。 これからの国際社会に対応すべく英語の運用能力アップ、コミュニケーションスキルの向上を目指す。一方で、言語活動に専念するのではなく、言語を通して異文化理解につとめる。	授業への取り組み 提出物 行動観察
	5	国際理解教育	これからの国際社会に対応すべく英語の運用能力アップ、コミュニケーションスキルの向上を目指す。一方で、言語活動に専念するのではなく、言語を通して異文化理解につとめる。	
	6	国際理解教育	これからの国際社会に対応すべく英語の運用能力アップ、コミュニケーションスキルの向上を目指す。一方で、言語活動に専念するのではなく、言語を通して異文化理解につとめる。	
	7	国際理解教育	これからの国際社会に対応すべく英語の運用能力アップ、コミュニケーションスキルの向上を目指す。一方で、言語活動に専念するのではなく、言語を通して異文化理解につとめる。	
2	9	国際理解教育	これからの国際社会に対応すべく英語の運用能力アップ、コミュニケーションスキルの向上を目指す。一方で、言語活動に専念するのではなく、言語を通して異文化理解につとめる。	授業への取り組み 提出物 行動観察
	10	国際理解教育 平和教育 (修学旅行関連 : 35時間)	これからの国際社会に対応すべく英語の運用能力アップ、コミュニケーションスキルの向上を目指す。一方で、言語活動に専念するのではなく、言語を通して異文化理解につとめる。 平和や伝統文化について学習し、集団の中での立場や責任を学ぶことを目的として、京都・奈良・広島を4泊5日で巡る。 1. 事前学習 ① レポートの作成 「戦争と平和について」「世界遺産について」のレポートを作成し、修学旅行にむけての意識を高める。 ② DVD鑑賞 見学地の歴史的背景に関するDVDを鑑賞し、知識を深める。 2. 実行委員の発足 ① 目標や規則など、よりよい修学旅行になるよう、自分たちで考え、行動できるようにする。	

			<p>3. 修学旅行の実施, 班別自主行動</p> <p>① マナーを守る, 集団生活における協調性重んじ, 自分の役割を果たすことができるようにする。</p> <p>② 班員で協力し, 計画通りに行動することができるようにする。</p> <p>4. 事後学習</p> <p>① 修学旅行新聞の作成</p>	
	11	国際理解教育	これからの国際社会に対応すべく英語の運用能力アップ, コミュニケーションスキルの向上を目指す。一方で, 言語活動に専念するのではなく, 言語を通して異文化理解につとめる。	
	12	国際理解教育	これからの国際社会に対応すべく英語の運用能力アップ, コミュニケーションスキルの向上を目指す。一方で, 言語活動に専念するのではなく, 言語を通して異文化理解につとめる。	
3	1	国際理解教育	これからの国際社会に対応すべく英語の運用能力アップ, コミュニケーションスキルの向上を目指す。一方で, 言語活動に専念するのではなく, 言語を通して異文化理解につとめる。	授業への取り組み 提出物 行動観察
	2	国際理解教育	これからの国際社会に対応すべく英語の運用能力アップ, コミュニケーションスキルの向上を目指す。一方で, 言語活動に専念するのではなく, 言語を通して異文化理解につとめる。	
	3	国際理解教育	これからの国際社会に対応すべく英語の運用能力アップ, コミュニケーションスキルの向上を目指す。一方で, 言語活動に専念するのではなく, 言語を通して異文化理解につとめる。	

※ 上記の内容は, 進捗によって変更される場合がある。